

令和２年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
古代吉備キャンプ

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

郷土岡山および日本の歴史・伝統や文化などを大切にする心を育むため、「桃太郎のさと吉備」の自然の中で仲間と協力しながら、郷土の自然・文化に触れるロングウォークなどの活動を通して、「郷土岡山を大切にする心」を育成する。

2. 事業の概要

（１）期日

令和２年１２月２６日（土）～１２月２８日（月）２泊３日

（２）参加者

① 募集対象・人数

小学校４・５年生 ２４人

② 参加人数

２３人

（３）講師等

岡山民俗学会 名誉理事長 立石 憲利 氏

（４）企画・運営のポイント

- ① 郷土岡山を知り、大切に思う心をもつ児童を育てたいと考え、国立吉備青少年自然の家のキャッチフレーズである「桃太郎のさと 吉備」と絡めた事業運営を心がけた。
- ② 岡山の「岡山桃太郎伝説」を学び、伝説に出てくるゆかりの地を巡るなど、事業全体の一貫性を重視してプログラム構成を行った。
- ③ プログラム開発の目的も兼ね、古代と結び付けた新しい企画として、通常プログラムとは異なる火起こし体験や野外炊飯を実施することとした。
- ④ 閉会式では、子供たちが保護者へ向けて「岡山や古代について学んだことを発表しよう」をめあてに発表を行った。そして、保護者と子供たちがキャンプの内容を共有することができるようにスライドショーの上映を行った。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染拡大防止のために、参加者に朝夕の検温、マスクの着用、屋外の活動ではフェイスシールドの着用、活動前後のアルコールによる手指消毒を徹底した。

3. 活動の内容等

(1) 日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
12/26 (土)									受 付	開 会 式	アイ ス ブ レ イク	古 代 オ リ エン テー リング	火 起 こ し 体 験 土 鍋 で 炊 飯		語 り 部 に よ る 土 鍋 で 炊 飯		入 浴	就 寝
12/27 (日)	起 床 ・ 洗 面	朝 食 (レ ス ト ラ ン 弁 当)	桃太郎ウォーク(約20km) 吉備津神社～鬼ノ城 昼食(レストラン弁当)										夕 食 (レ ス ト ラ ン)	振 り 返 り		入 浴	就 寝	
12/28 (月)	起 床 ・ 洗 面 ・ 清 掃		朝 食 (レ ス ト ラ ン)	点 検	勾玉作り きびだんご作り 昼食(レストラン弁当)				振 り 返 り		閉 会 式							

(2) 活動の状況



【アイスブレイク】



【古代オリエンテーリング】



【火起こし体験】



【土鍋で炊飯】



【語り部による昔話講話】



【桃太郎ウォーク①】



【桃太郎ウォーク②】



【きびだんご作り】



【勾玉作り】



【閉会式】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① 仲間と協力することができて良かった。
- ② 友達ができとても嬉しい。
- ③ ロングウォークで岡山のことを知ることができて良かった。
- ④ 桃太郎ウォークのゴールである、鬼ノ城で見た景色はすごくきれいだった。
- ⑤ 一緒に活動して仲良くなった友達と別れるのが寂しい。

(3) 成果

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、マスクやフェイスシールドの着用、毎朝夕の検温、手指消毒も徹底して行い、安全に活動することができた。
- ② 郷土岡山の歴史や伝説について学び、最後は保護者に向けてキャンプで学んだことを発表し、まとめることができた。
- ③ 桃太郎ロングウォークの際は、各班にボランティアと職員でペアになって引率し、子供たちの安全や体調管理に努め、参加者全員で元気に歩き切ることができた。

また、各チェックポイントにも職員やボランティアを配置し、子供たちに向けた説明やクイズなどを行い、より深く岡山について学ぶことができた。

(4) 今後の課題

- ① 1日に複数の活動を組み込んだことにより、片付けまできちんと終わらせられなかった活動もあった。対象児童への指導を考慮し、余裕をもたせた時間設定についてはさらに検討が必要であった。
- ② 今回新しく企画したプログラムについては、今後さらに検討し、研修支援の際に様々な団体に利用していただけるものに仕上げていくことが必要である。

担当：企画指導専門職付 貞方 貴衣